

渡部一二実氏

1. 立候補を決めた理由を教えてください

4期16年の議員活動を通じて、電機連合富士通労働組合の組織内議員として勤労者・生活者の視点から様々な政策提言を実施すると共に、行政運営上の課題のチェック等も進めて来ました。今後も連合推薦議員としての役割を果たしつつ、これまで温かいご支援ご協力を頂いた地元の方々からの御恩に報いる意味合いから愛鷹地区の発展のために全力を尽くしたいとの思いで5期目の市議選に挑戦する決意を固めました。

2. 沼津市が現在抱えている最大の課題は何で、どのような対応策が必要だとお考えですか

最大の課題は少子高齢化の進行及び東京一極集中に伴う人口減少に歯止めを掛けることが求められており、様々な政策を動員してでも解決しなければならない課題であると認識しています。そのためには、国や県による労働環境の改善を進める一方で、市民生活に一番近い基礎自治体として共働きしやすい社会、子どもを産み育てやすい共生社会の実現が急務であり、これまで以上に伴走型の子育てスキル向上策を充実すべきと考えます。

3. 沼津駅付近鉄道高架事業により沼津市の再生は可能だと考えますか。

可能だとすれば、そこには、どんな因果関係があると思われますか。

地方都市の衰退は全国的な課題であり本市も例外ではないと考えます。しかし、本市は国から沼津駅付近鉄道高架事業の事業認可を受けており、本事業を着実に遂行することで再生可能な道筋が開けてくるものと認識しています。現在、鉄道高架事業の進展を見据えた積極的な民間投資が動き出し、複数の再開発事業が実施される見込みです。このチャンスを逃すことなく中心市街地を造り変え、稼げる沼津市を目指すべきと考えます。

4. 沼津市の人口減少について、国の関係機関の予測を上回るような沼津市当局が考えている合計特殊出生率の達成は可能だと思われませんか。

移住・定住策で何か、お考えはありますか。

人口減少に歯止めを掛けるためには、国・県・市等の各段階において積極的な子育て環境の改善が必須との認識です。また、合計特殊出生率の達成が可能か否かという視点ではなく、安心して子どもを産み・育てられる環境整備に皆で尽力すべきです。本市への移住・定住を進めるためには、人情味篤い沼津人との触れ合いをコンセプトとした空き家を活用した「おためし移住体験」を展開することで移住・定住が加速すると考えます。